

## 付着ウイルス C 除去評価試験※

※付着ウイルスCは社内の識別記号であり特定のウイルス・菌名をあらわすものではありません。

### 目的

試験品を用いた付着インフルエンザウイルスに対する不活化効果を評価する。

### 試験方法

①試験機関：一般財団法人 北里環境科学センター

②識別番号：北環発 2023\_0034 号（報告書番号）

③試験種類：不活化

④対象分類：ウイルス

⑤試験対象：インフルエンザウイルス

⑥試験品：光除菌フィルター

⑦試験条件：光源（無加工ガラスは無）

（光除菌フィルターは有）「ブルーデオの光源を使用した」

：風量（一）

：チャンバー容積（一）

：作用時間（60分、120分、240分）

⑧試験方法：フィルターにウイルスを付着させ経過時間後の付着ウイルス感染価を測定

JIS R 1706（ファインセラミックス-光触媒材料の抗ウイルス性試験方法）を参考

### 試験結果

無加工ガラスと光除菌フィルターによる経過時間ごとのウイルス数を示した。

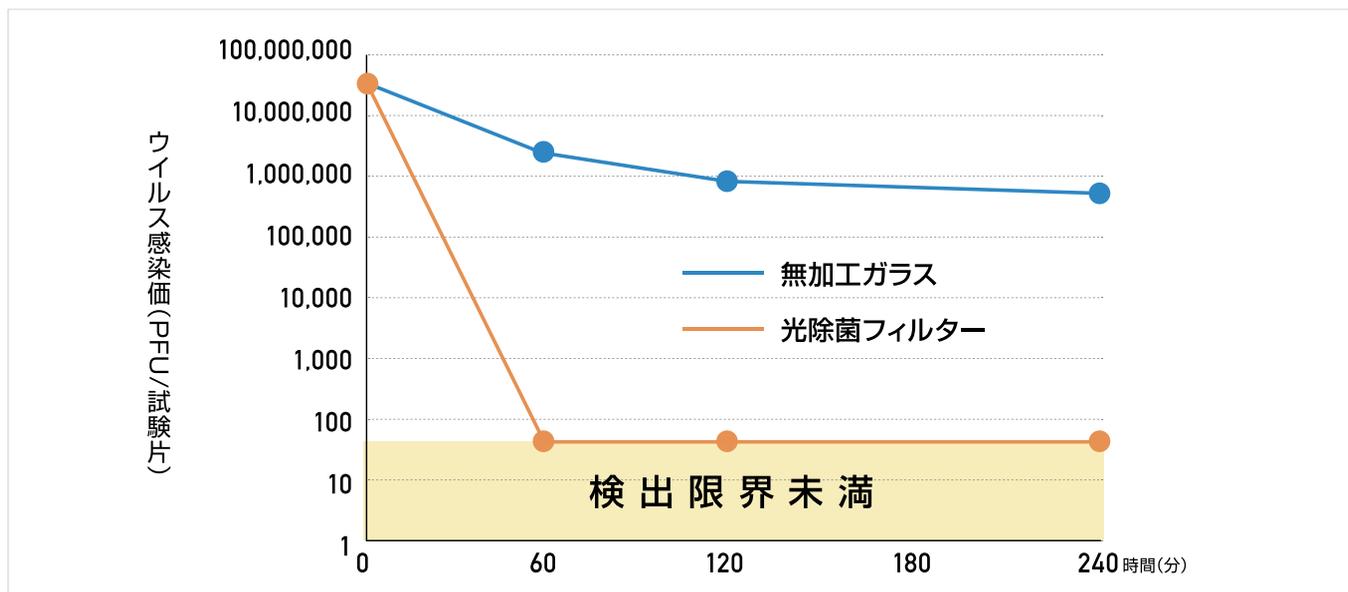
経過時間後の付着ウイルス数

単位：PFU/試験片

	0分	60分	120分	240分
無加工ガラス	33,000,000	2,600,000	850,000	550,000
光除菌フィルター	33,000,000 (注)	<50	<50	<50

※<50は検出限界未満を表す。

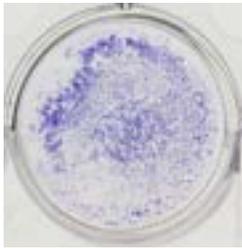
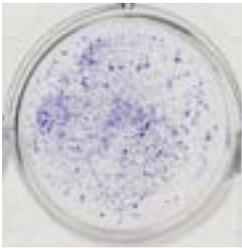
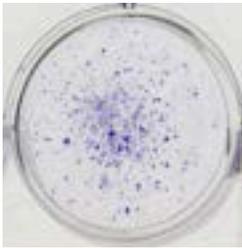
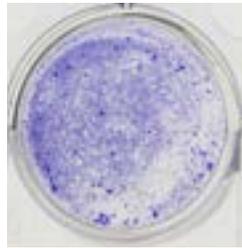
(注)無加工フィルター 0分の結果



60分後のインフルエンザウイルスは無加工ガラスが7桁なのに対し、光除菌フィルターに光源を照射した場合は、50未満(検出限界未満)を確認した。除去率は99.99%以上であった。

注) 研究試験データであり、実使用環境での効果を示すものではありません。

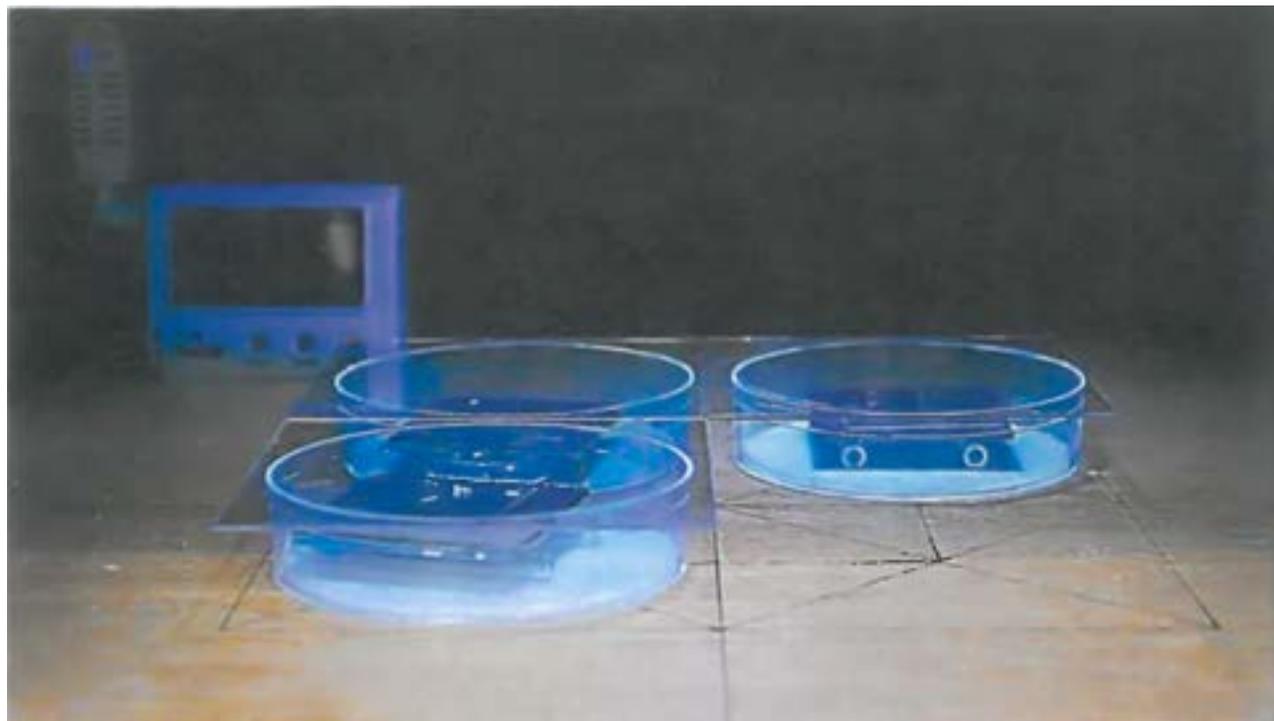
## プラーク写真

	0分	60分	120分	240分
無加工ガラス				
	33,000,000	2,600,000	850,000	550,000
光触媒フィルター				
	33,000,000 (注)	<50 (検出限界未満)	<50 (検出限界未満)	<50 (検出限界未満)

写真の白い部分が、ウイルスに感染した(プラーク)です。

(注)無加工ガラス0分の結果

## 試験風景



治具内試験片設置の様子



LED 照射実験装置